

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）

宮城県多賀城高等学校

本校は平成30年度より5年間、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けました。

○ SSH（スーパーサイエンスハイスクール）とは

文部科学省では、将来の国際的な科学技術系人材を育成することを目指し、理数教育に重点を置いた研究開発を行う「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業」を実施しています。SSH事業は高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の研究や国際性をはぐくむための取組を推進し、また、創造性、独創性を高める指導方法の開発等を実施するものです。

SSHに指定された高等学校は、文部科学省や関係する機関の支援を受けながら理数系教育の充実をはかります。

【文部科学省で推奨しているSSHでの取組】

- ・ 観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習
- ・ 課題研究の推進
- ・ 国際性を育てるために必要な語学力の強化
- ・ 創造性、独創性を高める指導方法の研究
- ・ 国際的な科学技術コンテストへの積極的な参加等

○ 本校におけるSSHの取組

1 研究開発課題名

防災・減災をイノベーションする科学技術人材育成のためのプログラム開発
～自然災害を中心素材とした持続可能な未来を創造するカリキュラムの開発～

2 目的・目標

人とくらしを守り、持続可能な未来を創造する科学技術人材を育成するためのカリキュラム開発を行います。特に、災害科学科及び普通科理系類型では、より学際的な視点での発展的な学習を行い、高い志を持ち、科学技術を基盤とする分野で高いリーダーシップを発揮し、世界的にも活躍できる人材と地域社会を活性化するイノベーターの育成に取り組みます。

3 研究開発の概要

(1) 防災・減災及び自然科学の視点で教科・科目をつなぎ、創出した合科的教科・科目による思考力・判断力・表現力等を育成するカリキュラムの研究開発を行います。

- ・ クロスカリキュラムによる教材開発
- ・ 多彩な学校設定科目の実施（くらしと安全、情報と災害、自然科学と災害等）

(2) 課題研究を主とする探究活動を通して、科学的思考力、実践力、表現力を身に付け、未知の課題を見出し、主体的に課題解決できる人材育成プログラムの研究開発を行います。

- ・ SS課題研究基礎（災害科学科）、ESD課題研究（普通科）：探究概念・手法の習得
- ・ SS課題研究（災害科学科、普通科理系）：問題解決型スキルの醸成・習得

(3) 探究型の学習を通して育成される汎用的資質・能力の変容を捉える、システム思考やテキストマイニング法を活用した多面的な評価法の研究開発を行います。

- ・ A L ・ I C T を活用した授業改善及び指導と評価の一体化